



蓮代寺こども園では、子どもたちの思いを大切にしながら、日々子どもたちと一緒に楽しく食育活動、自然体験、エコ活動をすすめています。その中からSDGs 宣言目標 12：つくる責任つかう責任についての活動をご紹介します。

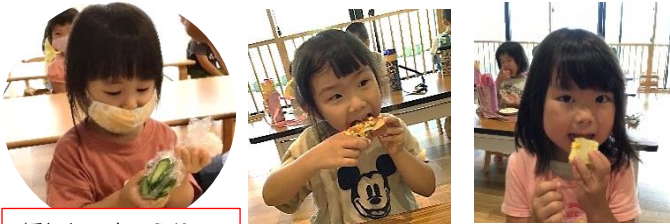
野菜の収穫をしました

春にみんなで苗を植え、水やりをして育てたピーマン、トウモロコシ、キュウリを、夏に収穫しました。触ったりにおいを嗅いだりして、自分たちで育てた野菜に嬉しそうな子どもたちでした。



収穫した野菜は、給食の先生に調理してもらったり、担任とピザを作ったりして、美味しく、楽しくいただきました。普段ピーマンを「にが〜い」と言い残してしまう子も、自分たちで育てたピーマンだと、いつものピーマンとはひと味違うようで味わって食べていました。

園では他にも小松産のトマトや人参・大麦など市内産の食材を多く使用し、地産地消に努めています。



採れたてきゅうりの塩もみ

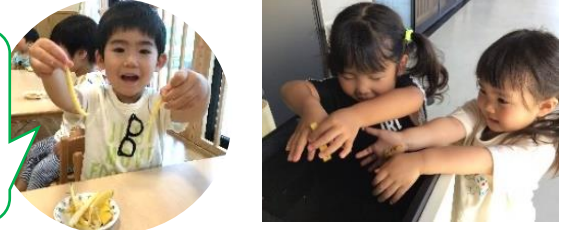
ピザトースト

ゆでたとうもろこし

リサイクラーって？

蓮代寺こども園ではリサイクラー（生ゴミ処理機）を設置しています。野菜くずなどを発酵・分解し、堆肥として花壇や畑に利用しています。

分解しやすいように、小さく割っています。



ランチルーム横のテラスに設置されている四角い箱に気づいたちゅうりっぷ組の子どもたち。「なんだこれ？」と不思議そうにしていたので、おやつに出たバナナの皮をリサイクラーに入れ、翌日、中を覗いてみました。バナナの皮がなくなり土のようにになっていることに驚き、これがお花や野菜が育つために必要な土になることを知ると、その後は、おやつや食事にバナナが出ると、誰からともなく皮を割き始め「バナナの皮（リサイクラーに）入れる！」と楽しみながら活動を続けています。

さつまいもを余すことなく

今年もたくさんのさつまいもを収穫することができました。収穫したさつまいもは、ツルや茎（葉柄）までも大切に食べたり制作に使ったりしました。



茎（葉柄）はみんなで皮をむき、きんぴらや芋づるご飯にしておいしくいただきました。



ツルは乾燥させて、リース作りに利用します。どんな飾りつけをしようかと、今からワクワクの子どもたちです。

普段は捨ててしまう部分も大切に使い、楽しむことができました。

ご飯は残さないで食べます

給食を取りに行く際には盛り付けの量を見て、自分で食べられる量のものを選んでトレイにのせています。自分で食べる量を決めることが、残さず食べることにつながっていると思います。給食の先生に「減らして」「いっぱいにして」など量の加減について言葉で伝える子もいます。そして、おかわりもたくさんしています。



思い切り遊び、お腹を空かせて食べるこって大切なことですね。友だちと一緒に美味しく楽しく食べることで食欲も更に増し、残さずに食べられるようです。

社会福祉法人大和善隣館のSDGs宣言「6つの目標」の内、次の3つについて子ども達とともに取り組みます。



太陽光発電等を通じてCO₂排出の削減に努めます。



安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。



ICTを活用したペーパーレス化及び食品ロスの削減を推進します。